

スモン患者における嗅覚の検討

軸丸 美香 (大分大学脳神経内科)
内田 大達 (大分大学脳神経内科)
水上 健 (大分大学脳神経内科)
岩尾慎太郎 (大分大学脳神経内科)
佐藤 龍一 (大分大学脳神経内科)
佐々木雄基 (大分大学脳神経内科)
渡部 優子 (大分大学脳神経内科)
石橋 正人 (大分大学脳神経内科)
藪内 健一 (大分大学脳神経内科)
麻生 泰弘 (大分大学脳神経内科)
木村 成志 (大分大学脳神経内科)
松原 悦朗 (大分大学脳神経内科)

研究要旨

スモン患者における嗅覚の検討を行った。対象は大分県でスモン患者登録をしている患者 11名のうち7名で、スモン検診時ににおいスティックによる嗅覚検査を行った。

A. 研究目的

嗅覚は生存や社会生活活動において重要な役割を果たすことが知られており、加齢とともに嗅覚低下を生じることが報告されている。80歳以上では嗅覚低下は62 - 80%に上る (参考文献 1)。スモン患者は平均年齢 80.8 歳 (平成 30 年度; 参考文献 2) と 1970 年以降の新規患者発生消失から 48 年を経て、高齢化が顕著である。そこで、大分県におけるスモン患者を対象に、嗅覚に関する検討を行った。

B. 研究方法

大分県在住で本年度のスモン検診を希望した7名の患者を対象に、スモン検診時に、においスティック (OSID-J) を用いた嗅覚検査を行った。におい検査項目5項目は、みかん、カレー、ガス、ばら、ひのきのにおいを用いた。

また、この検診に関しては、大分大学 IRB の承認を得て、文書でのインフォームドコンセントを取得し

た上で検査を行った。

C. 研究結果

平成 31 年度の大分県におけるスモン健康管理手帳受給者登録は 11 名であった。全員に手紙による検診希望 (来院、在宅) の有無を尋ねたところ、返信があったのは、8 名で、検診を希望したものは 2 名、在宅検診を希望したものは 5 名、検診を希望しなかったものは 1 名であった。

検診希望者の神経所見は、体格は全員で標準的で、視力障害のないものが 7 名中 3 名、指数弁 3 名、手動弁 1 名であった。腱反射は歩行が可能な 3 名のうち 2 名で亢進しており、病的反射も伴っていた。感覚障害は全員で伴っていた。自律神経症状としての下痢や便秘は 1 名を除いて全員に認められた。

検診希望者の平均年齢 86.2 歳 (70 歳台 2 名、80 歳台 3 名、90 歳台 2 名) で、女性 4 名、男性 3 名であった。そのうち検査が可能であった 5 名 (70 歳台女性 1

表1 結果 検診者神経所見

	94歳♀	90歳♀	89歳♀	84歳♀	83歳♀	75歳♀	74歳♀
BMI	22	24	22	19	25	18	23
血圧	96/46	104/65	101/54	106/65	154/74	134/72	126/62
嗅覚検査	なし	なし	異常	正常	異常	正常	なし
腰围 (cm/kg)	12/13	12/10	16/13	17/7	5.5/5	18/14	26/28
下肢運動検査	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常
視力検査	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常
聴力検査	正常	なし	正常	なし	正常	なし	正常
認知検査	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常
自律神経検査	正常	正常	正常	正常	正常	正常	正常

表2 結果 においテスト結果

	94歳♀	90歳♀	89歳♀	84歳♀	83歳♀	75歳♀	74歳♀
カレー	○	×	○	本難行	×	×	本難行
カレー	○	×	○		○	○	
カレー	×	×	×		○	×	
カレー	×	○	×		×	○	
カレー	×	○	×		○	×	
カレー	×	○	×		○	×	
年齢平均	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0		

名、80歳代男性および女性1名ずつ、90歳台女性1名)を対象に嗅覚検査を行った。正解率は、70歳台女性正答2/5と低下、80歳台男性2/5と低下、80歳台女性3/5と正常範囲内、90歳代女性はともに2/5で正常範囲内であった。正解率の高かったものはカレーで、5名中4名が正解した。年齢と正解率とに相関関係は認めなかった。

D, E. 考察および結論

今回嗅覚検査を行った5名のスモン患者においては、年齢につれて嗅覚が低下する傾向は認められなかった。スモンの病変と嗅神経から嗅球 - 嗅索を経て扁桃体および梁下野への経路とは関連がないことを示唆する所見と考えられた。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

I. 文献

1) Concepcio Marin et al, Olfactory dysfunction in

neurodegenerative diseases, Current Allergy and Asthma Reports, 18 (42), 2018.

2) スモンに関する調査研究 平成30年度総括・分担研究報告書